

## 令和7年度 障がい者支援施設みやび 地域連携推進会議 議事録

令和7年11月12日（水）10:00～12:20

みやび1階リラックスルーム

参加者 施設長 サービス管理責任者2名 入所者代表者1名  
地域連携推進員① 入所者家族代表1名  
地域連携推進員② 地域関係者：金田一地区民生委員1名

### 1. 施設長挨拶

- ・地域連携推進会議の開催が義務化となり、今年度、初めて開催する運びとなった。新型コロナウイルス感染症等に伴い、なかなか地域の皆様に施設内を案内して、入所者様の様子を直接ご覧頂く機会が無かった。本会議を良い機会として、障害者支援施設とはどのような所なのか、入所者様がどのような日常を過ごされているのか等を知って頂きたい。外部の視点を採り入れ、施設の情報を外部へ発信し、地域との関係作りが目的である。施設の内情をご覧になって頂き、皆様のご意見を頂けたら幸いです。

### 2. 構成員・施設職員の紹介

- ・施設職員3名、地域連携推進員2名、入所者代表者1名、各員の自己紹介。

### 3. 施設概要説明（サービス管理責任者）

- ・当施設の定員や提供しているサービス内容等を説明。

### 4. 施設見学（サービス管理責任者）

- ・当施設1・2・3階を案内し、各室の紹介や利用者の生活状況等を説明。実際の入所者の生活・日常活動を地域連携推進員に実見して頂いている。

## 5. 議題

### ① 令和7年度10月31日現在における利用者の状況について（サービス管理責任者）

- ・利用者の概況（令和7年4月1日～10月31日現在までの施設入所支援における月別利用状況／外出状況／外泊状況／入院状況、又、年齢別利用者数／入所期間別利用者数／障害者手帳種別利用者数／障害支援区分別利用者数／障害原因別利用者数）、利用者の障害状況、日常生活状況等を説明。

### ② 苦情について（サービス管理責任者）

- ・年2回、法人苦情解決委員会を開催し、障害者施設及び高齢者施設の苦情等の情報を共有している旨を説明。令和7年10月31日現在、当施設に対する苦情は無い旨を説明。今後も適切なケア・接遇を継続して行く。

### ③ 利用者の権利擁護の取組状況について（サービス管理責任者）

#### I 虐待防止の取組について

- ・年1回、全職員対象とした虐待防止研修（内部研修）の実施、及び、研修後の理解度アンケートの実施を説明。
- ・今年度は職員2名が外部の虐待防止研修に参加した旨を説明。
- ・毎月の接遇セルフチェックを実施し、虐待に繋がる恐れのある行為をしないよう、自分の言動に対する自省を促している旨を説明。
- ・年2回の職員セルフチェック・早期発見セルフチェックを実施し、虐待に繋がる恐れのある行為の有無の確認、及び、虐待の兆候の早期発見に努めている旨を説明。
- ・虐待防止委員会を偶数月に開催し、全部署で虐待の相談の有無を確認している旨を説明。令和7年10月31日現在、虐待又はそれに類する相談は無い旨を説明。

#### II 利用者の意思決定支援・意向確認について

- ・年2回、全利用者に対して利用者満足度アンケートを実施し、生活面・サービス面双方で利用者本人に評価して頂く共に、率直な意見や要望を伺い、サービス提供に反映している旨を説明。併せて、障害特性の為、自分の意思を明示する事が難しい利用者については、家族による評価や意見を伺い、サービス提供に反映している旨を説明。
- ・年1回、地域移行等確認調査を実施し、地域移行を希望する入所者の有無を確認している旨を説明。本人の地域移行の希望に即したサービス利用を提供することが令和8年度より義務化となる為、来年度のアセスメントや個別支援計画に適切に反映させて行く。
- ・日常活動として、サークル活動・映画上映会・外出買物等において、利用者の希望・要望・意見等を随時確認している旨を説明。

### ④ 研修・会議・行事等の状況について（サービス管理責任者）

- ・令和7年4月1日から10月1日までの研修、会議、行事等の実施状況について説明。
- ・見学者受入に伴う事業所公開状況や地域貢献活動、施設の行事、感染症発生状況等を説明。

## 6. 質疑応答・意見交換

### 〈入所者家族代表〉

- ・浴室のガラス窓が少し汚れている。綺麗に手入れされている中庭の木々が見えるし、大きくて採光も多い窓なので勿体無いと思った。  
⇒（サービス管理責任者）汚れがあり、申し訳ありませんでした。清掃委託業者が入る年は、窓ガラス清掃を行っている。今後は定期的に清掃し、より快適な浴室の状態を保つよう努めて行く。
  
- ・面会や外泊において制限や抗原検査等があり、又、面会に行くと利用者本人が「家に帰れる」と思い込んでしまう為、なかなか自由に行けない。親としては、後ろ髪を引かれる思いがする。高齢者施設では面会や外泊が気軽に許可されている施設もあるので、施設によって対応に違いがあると感じる。  
⇒（サービス管理責任者）みやびにおいては、身元引受人以外の面会者や圏域外の遠方より来る面会者については制限を設けている。面会予約については、身元引受人、又は身元引受人の同伴者の場合には事前予約の無い場合でも面会可としている。  
⇒（サービス管理責任者）身元引受人や家族が遠方にいる場合、利用者本人に何か出来事が生じたら面会に来るという方も多し。面会せずとも、携帯電話を所有している利用者が自分で連絡する場合もある。親だけではなく姪・甥が身元引受人を務めている場合もある為、面会についての家族側の考えは、本人との関係性によって異なっている。従って、面会に来られない心情的な理由は家族によって違う。ご家族様のお気持ちを重く受け止め、柔軟に対応出来るよう努めて行く。当法人では施設によって嘱託医が異なる為、面会や外泊の許可等の対応が異なってしまう。嘱託医の方針に従い、かつ、看護師の側も感染症予防に努めている為、みやびでは現状の対応となっている。
  
- ・BCP とは何か。  
⇒（サービス管理責任者）災害時や感染症発生時等の際、施設が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画である。災害 BCP はサービス管理責任者の 1 名が主に作成、感染症 BCP は原案をサービス管理責任者の 1 名が作成し、看護職員が施設の実情に即して修正した。BCP 策定は必須事項であり、策定していない場合は減算となる。
  
- ・利用者本人の日常生活について興味がある。入所前と入所後の現在では生活状況が異なる。本人はみやびの生活を気に入っていると思う。  
⇒（サービス管理責任者）入所前とは生活状況が違うと思うが、みやびでの生活を楽しんで頂いているのであれば幸いである。  
⇒（サービス管理責任者）利用者満足度アンケートのご希望に即し、利用者本人の 1 日の生活のタイムスケジュールを担当職員が作成した。後日、郵送させて頂く。

- ・防災における地域との連携について、地域の消防団との連携が必要な場合もあると聞いたが、みやびではどうなのか。  
⇒（サービス管理責任者）過去には地域消防分団と連携して自衛消防訓練を実施した記録がある。現在は二戸消防署が隣接しており、建物の構造上、利用者の居室が2・3階にある為、実際の避難時には梯子車を使う事を想定している。よって、近年は地域消防団と連携した避難訓練は行っていない。今後は地域と連携した防災対策に努めて行く。
- ・家族として何か協力できることがあれば協力したい。親の会などがあれば、他の利用者の話を聞いたり話し相手になったりする等で役に立てればと思っている。

#### 〈地域関係者 民生委員〉

- ・入所者がみやびに入所するに至った経緯は、どのようなものがあるか。遠方より入所した方は、二戸市に縁故がある方なのか。  
⇒（サービス管理責任者）軽米町にある太陽の里入所者であった方が、そのまま当施設へ入所したケースが多い。又、当時は県内の障害者施設の数が少なかった事もあり、二戸市に縁故が無くとも太陽の里に入所する事となった方もいる。
- ・施設行事で花植えやクッキング・ライブ（焼鳥）とあるが、花壇は施設の敷地のものなのか。地域の若い人等との交流はあるのか。民生委員の活動として子供会の取組にも協力しているが、熊の出没等に伴い、ウォーキングが中止になった事がある。若い人や児童との交流の場として、施設行事を活用してみても良いのではないか。  
⇒（サービス管理責任者）花壇は施設の敷地のものである。花植えもクッキング・ライブも施設内行事の為、今のところ地域との交流は無いが、今後は若い人や児童と交流し、地域の方々に当施設を知って頂くよう努めたい。
- ・民生委員の地域活動の一環として、二戸地域の小学生と畑作りや薩摩芋作り等を行っている。又、他法人の高齢者施設の利用者に、若い頃の経験を活かして稲刈り後の稲を束ねる作業を手伝って頂いた事がある。そのように、みやびの入所者の中で今までの人生経験を活かせる方がいれば、地域での活動に参加してみても良いのではないか。  
⇒（サービス管理責任者）地域での活動に利用者が参加する機会を作る事は、非常に大切と感じている。障害状態を考慮しつつ、検討して行きたい。
- ・みやびでの職員の勤務や離職状況はどうか。  
⇒（サービス管理責任者）二戸地域における他の福祉事業所の離職率や勤務状態の話聞く限り、当施設でも同様の状況である。

⇒（施設長）当法人において、入所系施設と通所系施設とでは離職率に差が生じている。通所系施設の方が、離職率が若干低い傾向である。入所系施設は夜勤があり、職員の身体的・精神的負担が大きくなる為、離職率が高まってしまうのではないかと考えている。職員不足を補う為にも、外国人実習生に頼らざるを得ない状況である。

- ・他の会社の食品加工工場では外国人労働者が大きな労働力となっている。外国人の職員の状況について、みやびではどうか。

⇒（施設長）現在、ベトナムから1名、ミャンマーから1名の外国人実習生が勤務している。業務に慣れて来る中で、日中の介護現場の力となっている。

⇒（家族代表）前職に従事していた時に、外国人労働者関係の手続を数十名程行った経験がある。数年前から、どの業種でも外国人に頼らざるを得ない状況になっているのだと感じている。

⇒（施設長）12月にネパールから外国人職員1名を新たに採用する予定。現在、勤務している外国人実習生の中には、実務者研修を受けて資格取得に臨もうとしている者もいる。そのような実習生を応援すると共に、今後も職員確保に努めて行きたい。

## 7. 閉会

（施設長）お忙しい中、ご臨席頂き心より感謝申し上げます。たくさん有意義な話が出来、予定より時間をオーバーしましたが、良い会議となったと思います。地域の皆様に当施設の様子を発信し、知って頂くことが大切だと感じております。今後も、地域連携会議の開催に際してはご協力頂きますようお願い致します。